

令和3年全国学力・学習状況調査(2021.5.27)の結果からみた

国語・数学の力と学習や生活の状況

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

【国語について】

◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3つの領域では、全国平均を上回っています。特に、「話すこと・聞くこと」については優れています。

◎問題1三や問題2一のような、話し合いの話題や方向性を捉えて話す内容を考えたり、意見文の下書きを直したりする問いに対して高い正答率を示しています。また、問題3二・三のような、小説において展開や登場人物の行動・言動などから内容を読み取ることがよくできています。このことから本校生徒が、様々な表現の中から情報を取得し、整理して読む力があることがわかります。

▲課題としては、少し複雑な問題になると無回答が増える傾向にあります。特に自分の意見を書くことや、漢字の難しい読みの問題に対して、無回答である生徒が比較的多く見られます。これは、間違ふことへの恐れや自信のなさのためだと思われます。これからは、短文を組み合わせる自分の考えをまとめたり、漢字を使って書く機会を増やしたりして、積極的に解答しようという準備をしていくことが必要だと考えます。

▲問題4のような「伝統的な言語文化と国語の特質に関すること」に関する問題に課題があります。「敬語」に対する基本的な知識や、立場の違う方と交流するような生活経験が足りないために、正しく敬語に直したり、お礼のメールに心遣いの文章を添えたりすることを苦手としています。授業や実生活の中で、これらのことを意識して活用する機会を設けていくことが必要だと考えます。

【数学について】

◎「数と式」、「関数」、「資料の活用」の3つの領域では、全国平均を上回っています。特に「関数」が全国平均を大きく上回っています。

◎砂時計で、砂の重さと砂が落ち始めてから落ちきるまでの時間の関係をグラフに表した際の点の並びが一直線上にあると考えることで、その関係を比例とみなし、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する問題の正答率は、全国平均を大きく上回っています。グラフから必要な情報を読み取ったり、問題解決のために利用したりする力がついているようです。

▲中心角 60° のおうぎ形の弧の長さについて正しいものを選ぶ問題に課題がありま

す。おうぎ形の弧の長さが中心角の大きさに比例することの理解が不十分なようです。円やおうぎ形に関する学習では、まず円の周の長さや円の面積の求め方の定着を図ったうえで、おうぎ形の中心角と弧の長さや面積の関係について理解し、これらの数量の求め方の定着を図る必要があります。

▲四角形 ABCD が平行四辺形になることを平行四辺形になるための条件を用いて説明する問題に課題があります。平行四辺形になることをどのように説明すれば良いかわからなかったようです。対策として、まず図形のいろいろな性質を理解して確実に身につけることが大切と考えます。そしてそれらを使って図形について等しい数量や位置関係を見つける力や端的に表現する力の定着を図ることが必要と考えます。

【学習や生活について】

▲新型コロナウイルスの感染拡大のため、学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送ったり、計画的に学習したりすることの両方の項目について全国の平均を下回っています。しかし、通常の生活に戻り、朝食を毎日食べる・毎日同じくらいの時間に起床や就寝するといった項目はほぼ全国平均と同じです。現在は概ね健康的な生活を送っていることがわかります。

◎自分用のスマホやタブレットの保有率は高いのですが、平日にゲームを長時間している生徒は県内や全国の平均より少なく、平日は全くしないと答えている生徒も学年で比較的多くいます。学習のために使っている生徒は県や全国の平均よりも多くいますが、おおむねインターネット使用上のルールは守って使っているようです。

▲どの教科においても、1、2年時の授業での言語活動で、自分の思いや考えをしっかりと伝えることができたと答えている生徒が県や全国の平均を共に下回っています。今年度は授業だけではなく、総合的な学習や学校行事などいろいろな場面で話し合い活動を設けています。相手の話をしっかりと聞いてから自分の考えを深めることや、自分の思いや感じていることをきちんと言葉で表すこと、発表を聞く人によりわかりやすく伝えることなど、多様な経験を積むことにより、着実にコミュニケーションスキルが身につくと考えます。

◎平日の読書量は県や全国の平均を上回っています。朝読書の時間以外にも休み時間、昼休みに読書をしている生徒をよく見かけます。しかし、新聞に関してはほぼ毎日読んでいる、または週に1～3回程度読んでいるという生徒は、県や全国の平均を下回っています。朝読書の時間に週1回新聞記事を読んで問題に取り組んだり、自分の意見を書いたりする活動を取り入れ、新聞にふれ合う機会を増やし、社会や地域の出来事に対する関心を高めるとともに、自分の考えを持ち、わかりやすく伝え、考えを深めることができる生徒の育成に努めています。